

固定資産税の評価誤りについて

1. 概 要

本年 7 月に納税者から固定資産税の評価内容について問い合わせがあり、現況調査を行ったところ、納税者所有の「倉庫・車庫」に評価誤りがあることが判明した。

内部調査の結果、建物基礎部の評価について、担当職員の誤認があり、誤認した評価で実施した令和 3 年度以降の同種同様の物件に、同様の事例が存在する可能性が高いことから、「倉庫・車庫」について、写真データと内部資料により全件調査を行ったところ、複数の物件について同様の評価誤りの「疑義」が生じた。

当該疑義物件について、現地調査を実施し現況確認を行った結果、この度評価に誤りが判明したものの。

2. 対 象

- ① 種 別 : 倉庫・車庫
- ② 対象年度 : 令和 3 年度課税 ～ 令和 6 年度課税
- ③ 対象件数 : 170 件
- ④ 疑義が生じたもの : 9 件
内訳:R6(R5 築)2 件、R5(R4 築)5 件、R4(R3 築)2 件、R3(R2 築)0 件

3. 調査結果

- ① 現地調査結果 倉庫、車庫疑義案件 9 件中／8 件に誤り発生
- ② 誤りの内容 (誤) 布基礎 → (正) 杳石 (くついし) 4 件、基礎なし 4 件
- ③ 還付金の総額 208,400 円 (うち還付加算金 0 円)

<要 因>

担当職員の評価の誤認があり、現地調査において、「倉庫・車庫」に関する「基礎部」の評価を誤った

(誤)「布基礎」での評価 → (正)「杳石」での評価

<調査方法>

問題が生じた「倉庫・車庫」の基礎部を中心に、評価当時の写真及び内部資料で確認。

「疑義」が生じた 9 件については、納税者了承のもと現地調査を実施。

4. 再発防止に向けて

- ① 職員の技量向上に向けた組織的対策の徹底
- ② 内部情報共有の徹底
- ③ チェック体制の検証
- ④ 評価マニュアルの修正、現地調査マニュアル作成
- ⑤ 評価調書の再構築